

## 日本史B

## 第1問 問1

### カードと模式図を組み合わせて変化をとらえる問題で、各学力層で差がついた

問1 下線部㉔に関連して、Aさんは、宮都の構造が律令体制の整備に伴い変化していったことに気づき、カードと模式図を作成した。宮都の全体を示した模式図ア～ウのいずれかを説明した次の3枚のカード（年代順になっているとは限らない）を参考にして、模式図ア～ウを古いものから年代順に配列した場合、正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 1

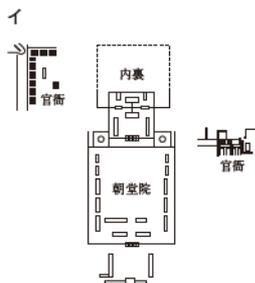
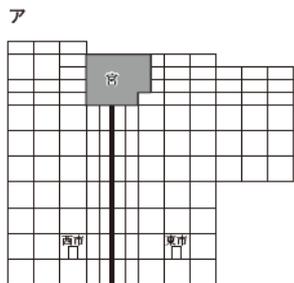
カード

条坊制をもつ都市であり、モデルの長安とは異なり、朱雀大路を中心に左右非対称であった。宮の周辺には、長屋王や藤原仲麻呂などが邸宅を構えた。

孝徳天皇が造営した王宮であり、大規模な朝堂院が設けられた。中心施設の東西に官庁が置かれ、豪族らの邸宅で行われていた職務が宮に取り込まれた。

持統天皇の時代に遷都され、条坊制によって区画された京をもつ本格的な都城である。役人は班給された京内の宅地への居住が義務づけられた。

模式図



ウ



(注1) 模式図は発掘調査の結果に基づいて作成しており、現在未確定の箇所もある。  
 (注2) 宮は、天皇の居住空間である内裏、臣下が着座・列立する朝堂院、官庁である官衙などで構成されていた。  
 (注3) 模式図の縮尺は同一ではない。

- ① アーイーウ
- ② アーウーイ
- ③ イーアーウ
- ④ イーウーア
- ⑤ ウーアーイ
- ⑥ ウーイーア

### 第1問 問1

<b>正解率</b>	<b>34.2%</b>
SS70～75	89.3%
SS65～70	76.6%
SS60～65	60.9%
SS55～60	45.9%
SS50～55	35.3%

### 2021年度第3回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試「日本史B」

受験者数: 93,231人  
 平均点: 50.6点  
 標準偏差: 18.1

## 日本史B

## 第1問 問1

### カードと模式図を組み合わせて変化をとらえる問題で、各学力層で差がついた

#### 結果分析

第1問の問1は、カードの内容をもとに、宮都の模式図を並び替える問題で、各学力層で差がつかしました。

カードの情報から、それがいつの時期のことを説明しているかを読み取ったうえで、同時期の宮都の模式図と組み合わせる力が求められました。カードの情報を適切に活用できるかどうかで差がついたと考えられます。

#### 指導のご提案

教科書が一通り終了し、問題演習を通して知識の定着や確認を進められている時期かと思います。設問の設定が複雑であったり、資料の分量が多くなると、時間内に解答を終えることができない生徒も多くいるのではないかと思います。これから共通テストまでの約1か月のご指導では、決められた時間内に情報を適切に処理するために、キーワードとなる語句に注意をしながら読み解く演習を繰り返すことが重要です。

また、共通テストでは、本問のカードと模式図のように、複数の資料を組み合わせて考察するタイプの出題が考えられます。知識を正確に理解しておくことはもちろんですが、設問の設定や、提示されている資料の趣旨を素早く正確に読み解く力が、実戦力として求められます。